



御家流棚盆飾置合大概(全)

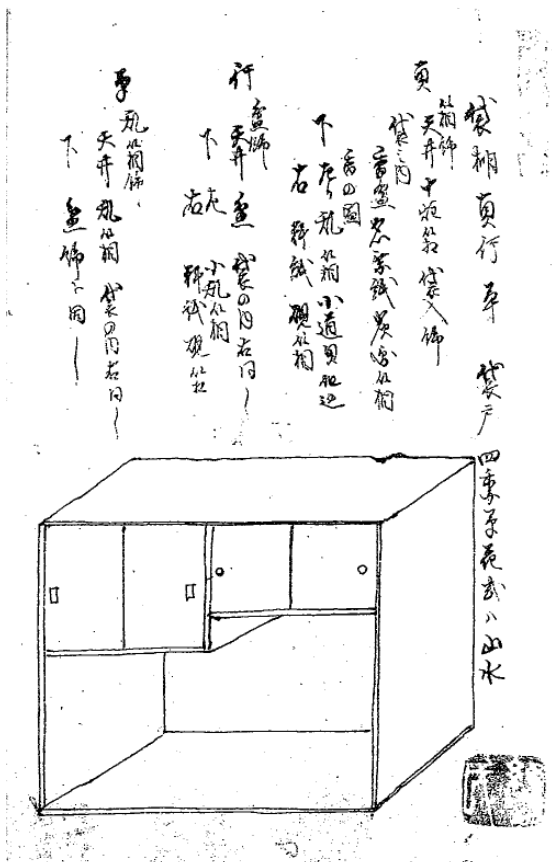
(おいえりゆうたなぼんかざりおきあわせたいがい)

伊与田宗茂勝由傳 細谷助左衛門授 写本

東北大学附属図書館狩野文庫所蔵

【凡例】

- ① 句読点、「」、送り仮名等は適宜追記しました。
- ② 旧仮名使いを新仮名使いに適宜改めました。
- ③ 黒字の()は、本文内に小文字で記された注記です。
- ④ 青字の()は、筆者の補足です。
- ⑤ 赤字は、判読等に曖昧な点がある部分です。



袋箱 眞行草 袋戸 四季草花、或は山水

眞箱飾り
天井 十炷箱、袋入飾
香の図
香盆 名乗紙、炭染箱
下 左 乱箱、小道具、硯箱
右 料紙、硯箱

行 盆飾り
天井 盆
下 左 小乱箱
右 料紙、硯箱

草 乱箱飾り
天井 乱箱
袋の内右に同じ
下 盆飾りに同じ

棚飾り 眞行草

袋戸 四季草花、或は山水

眞箱飾り

天井 十炷箱、袋入飾
袋の内

香盆 名乗紙、炭染箱

香の図

下 左 乱箱、小道具、
右 料紙、硯箱

行 盆飾り

天井 盆

袋の内右に同じ

下 左 小乱箱

右 料紙、硯箱

草 乱箱飾り

天井 乱箱

袋の内右に同じ

下 盆飾りに同じ

二重棚 四方圍 紫揚卷

天井 十炷香箱、或は乱箱、
或は盆飾り

下 左 乱箱、或は火取香炉

右 料紙、硯箱

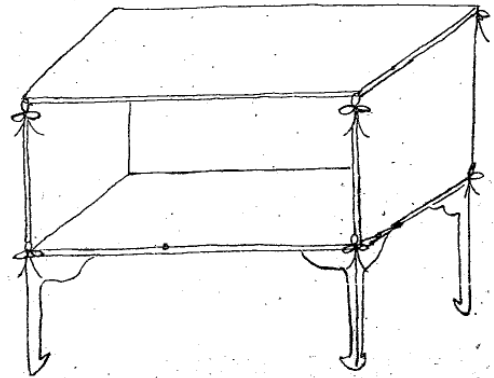
右、袋棚の様、真行草

飾り気持ち様々のこと

あるべし。陰陽の数

床飾り迄、分別あるべし。

床飾り迄、分別あるべし。



二重棚 四方圍 紫揚卷

天井 十炷香箱、或は乱箱、
或は盆飾り

下 左 乱箱、或は火取香炉

右 料紙、硯箱

右、袋棚の様、真行草

飾り気持ち様々のこと

あるべし。陰陽の数

床飾り迄、分別あるべし。

床飾り迄、分別あるべし。

[図]

違棚飾り

□ 十炷香箱、或は料紙

△ 短冊箱、或は料紙、硯箱

○ 盆巻物、或は手鑑書物

● 盆石、或は文台

違棚は香式にたれば

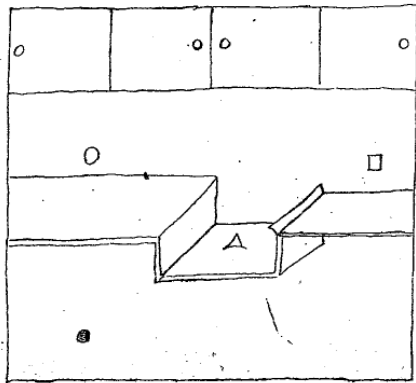
香道具の外は後世、床飾

式といふとも、置物の置き合わせには

略儀事なれば、時宜によつて

作為も有るなれば、床飾りに

香図の外、定まれる法なし。



違棚飾り

□ 十炷香箱、或は料紙

△ 短冊箱、或は料紙、硯箱

○ 盆巻物、或は手鑑書物

● 盆石、或は文台

違棚は香式にたれば

香道具の外は後世、床飾

式といふとも、置物の置き合わせには

略儀事なれば、時宜によつて

作為も有るなれば、床飾りに

香図の外、定まれる法なし。

[図]

卓飾 卓丁法不定

供香 空焚き（用ゆ）

上 香炉、或は香箱、火筋立も

様々の香炉置くなり。

供香、空香にて

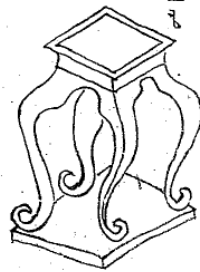
置□、香炉、箸目

飾り方、子細あるへし。

卓下 火筋立 火箸、

灰押 又、卓下に花も生ける。花□生にて

秘事なり。



長香台 丁法不定

生香 香炉 一つ置き

掛物により、置き方に

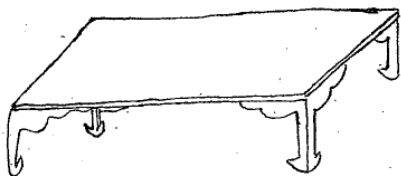
工夫有る事なり。

床置物台をも兼ねる。

低い台には「あおむきたる」物を

居えるべし。

高きは、「うつむきたる」品、法なり。



卓飾り 卓寸法定まらず。

供香 空焚きに用ゆ。

上 香炉、或は香箱、火筋立も

様々の香炉置くなり。

供香、空香にて

置□、香炉、箸目

飾り方、子細あるへし。

卓下 火筋立 火箸、

灰押

また、卓下に花も生ける。花□生にて

秘事なり。

長香台 寸法定め無し。

生香 香炉 一つ置き

掛物により、置き方に

工夫有る事なり。

床置物台をも兼ねる。

低い台には「あおむきたる」物を

居えるべし。

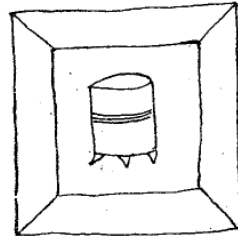
高きは、「うつむきたる」品、法なり。

☒

☒

盆飾圖式

四方盆 一つ置き
 四方盆 眞の物なり
 飾り
 ねんね ぼんぼり



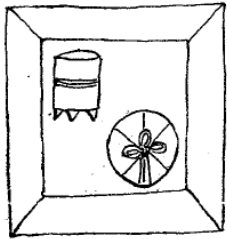
盆飾り図式

四方盆 一つ置き(香炉)
 四方盆、眞の物なり。
 飾方、
 様々の品、口伝。

[図]

四方盆

二つ置き

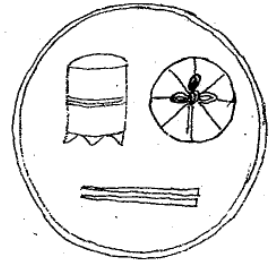


四方盆

二つ置き(香炉、香袋)

[図]

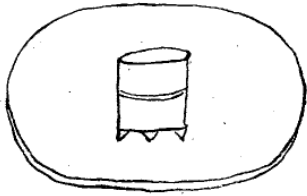
丸盆
三つ置



丸盆 三つ置き(香炉、香袋、香箸)

[図]

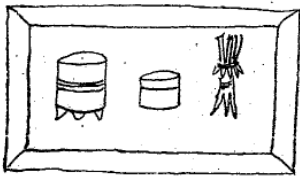
杏形盆
一つ置



杏形盆 一つ置き(香炉)

[図]

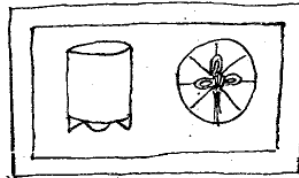
長盆
三つ置き



長盆
三つ置き(香炉、香袋、火筋立)

[図]

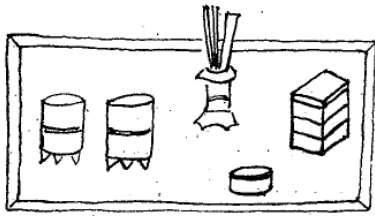
長盆
二つ置き



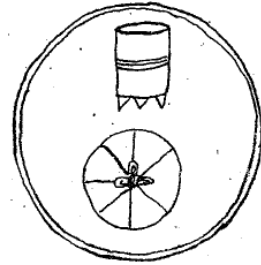
長盆
二つ置き(香炉、香袋)

[図]

長盆
二脚
香合



丸盆
二脚



長盆大形 置き合わせ(重香合、火末入、火筋立、香炉二脚)

[図]

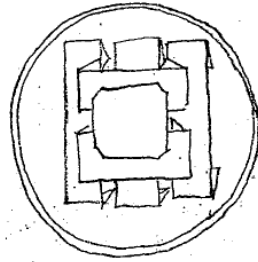
丸盆 二つ置き(香炉、香袋)

[図]

香合に香を入れる図

香五種 下に三包

横 上に二包
銀葉一枚置く



棚飾 盆飾 當流 雖も 秘事 同
執心 相傳子 懐も 七 他 見 致 有 之

伊与田宗茂

勝由

細谷助左衛門殿



香合に香を入れる図

香五種 下に三包

上は二包

横 上に二包

銀葉一枚置くなり。

[図]

棚飾り、盆飾り、当流秘事と雖も同

執心、相伝卒(おわんぬ)。みだりに他云、他見致すべからざる者なり。

伊与田宗茂

勝由

押印

細谷助左衛門殿

令和三年四月

『香筵雅遊』 國井和裕